

神棚のある暮らし♪



神棚ってなに？

神棚とは、右の写真のように家庭において、神社から戴いたお札をお祀りする宮形を納める棚、または宮形そのものを指します。

宮形にお納めするお札は、伊勢神宮のお札と氏神様のお札、その他ご自分が崇敬されている神社のお札をお納めします。神社の御祈禱を受けた際に戴いたお札や、授与所でお受けになられたお札の大半は8寸よりも大きいものが多く、宮形にお納めすることは出来ませんので、宮形の横に並べてお祀りします。



南もしくは東に向け、高い処へ設けます。



どうして神棚が必要なの？

先に述べましたが、神棚(宮形)へお納めお祀りするお札は、伊勢神宮並びに氏神様、そして崇敬社のお札です。それぞれの神社の神様の御神霊が込められたお札を家庭にお祀りすることで、神様の限り無い御神徳により日々の生活が安らかであるようお守護り頂く訳ですので、言い換えれば家庭にご家族を守護って下さる神様が常におられるということなのです。



どうして氏神様だけでなく伊勢神宮のお札もお祀りするの？

伊勢神宮(正式名称は単に『神宮』と言います)は、皇室の御祖先神である天照大御神という太陽を神格化した神様をお祀りし、日本の総氏神様でもあります。皆様がお住まいになられている氏神様のお札だけでなく、日本全国の総氏神様でもある伊勢神宮のお札をお祀りするのです。

また、神棚(宮形)へお納めお祀りする伊勢神宮のお札は神宮大麻と言ひ、伊勢神宮の神職により様々な神事を経て丁寧に祓い清められ、皆様の下へ頒布されます。



伊勢神宮のお札、神宮大麻



神棚は心を育み、家庭の絆を深める存在

近年、恐れを知らずに育った子供が起こす少年犯罪が年々増えています。その要因を犯罪を起こした子供の育った家庭環境に全てを求めることは出来ませんが、大きな要因の1つであることは間違いないでしょう。

子は親の背中を見て育つという言葉がありますが、親が普段から神様へ手を合わせていれば、自然と子供も真似をするものです。今日一日を無事に生活出来たことを感謝し、また明日も平穏に過ごせますようにと神様にお願いする心を人生の先輩である親が子供に教えずにはなりません。人生の道理を正しく子供に伝えることで子供は親を尊敬し敬うようになるのです。物質的な豊かさよりも、精神的な豊かさがこれからは求められてくるでしょう。



当社では、これから神宮大麻を新たにお祀りしたいという方を対象に、右の写真のような宮形を無料で差し上げております。ご希望の方は神社職員へお尋ね頂くか、下記までご連絡下さい(宮形のデザインは変わる事がございますのでご了承ください)。
※ 宮形の無料配布には、神宮大麻(1体 ¥1,000)をお受け頂く必要がございます。



伊勢神宮の御用材にて作られた格調ある宮形(一社造り)です。



元郷氷川神社

☎ 048(224)1466

き り と り

神棚(宮形)申込書

お申込日: 年 月 日

※ 南平地域の方に限り、ご希望の方は12月に翌年用の神宮大麻等をお届け致します。

ふ り が な		お届希望の有無 (どちらかを○で囲んで下さい)	お届を希望する お届を希望しない
1、氏 名 必須			
2、住 所 必須			
3、電話番号 必須	()		